

阿武隈が
われを呼んでる
遠郭公

阿武隈がわれを呼んでる遠郭公
この俳句は、猪狩重信さんが福島民報に投稿し、選ばれたものです。
江井芳朗選評
「遠郭公(とおかつこう)の鳴く声にふと阿武隈が呼ぶ郷愁の念にかられた。古里を捨てきれない強い意志が伝わる。主観的な句で感動深い。」(2014年6月8日 福島民報より抜粋)
この俳句を富田仮設自治会の遠藤武会長に書いていただきました。
この句には「遠」「武」の二文字が折り込まれていますが、単なる偶然なのでしょうか?

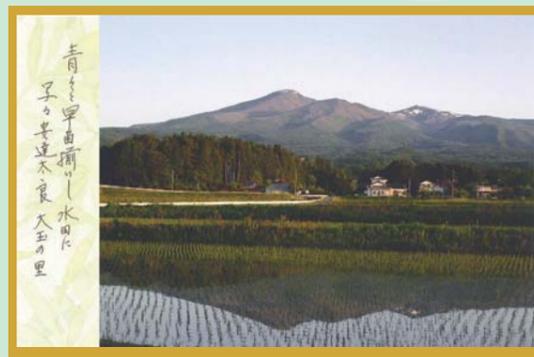


猪狩 ヤイさん

猪狩 重信さん(句)・遠藤 武さん(書)

川柳

- きっと来る町に笑顔の咲く明日
- 避難地の孫も見てるか同じ月
- 亡き父と一時帰宅の庭に立つ



猪狩 恵子さん

短歌

- 白河の関の大ふじいにしへの旅のよすがを吾に伝えよ
- 二百余を生きし牡丹の大株よ町の歴史もとぐめおきてか
※さくらスポーツの白河ウォーキングと須賀川牡丹園行きに参加した時に詠んだもの
- 吾娘達は愛し子を抱く母となり
吾はママからバアバとなりて

北崎 迪子さん

お便り・情報提供募集

皆さんからのお便りや情報提供など大募集中です!お寄せいただいたお便りは情報紙内で紹介させていただきます!同窓会のお知らせなど皆さんに発信したい情報でも大歓迎です。皆さんのお便りや情報お待ちしております!

Mail odagaisama@gmail.com
● 郵送は下記住所までお送りください。

『みでやっぺ』終了のお知らせ

2011年5月1日より創刊された情報紙『みでやっぺ』は、本紙をもって終了致します。
発行101回目より紙面の「名前」と「内容」を変えて新たな情報紙(社協だより)として、皆様に富岡町社協からのお知らせやイベントの情報等をお届けしたいと思います。『みでやっぺ』は発行を終了しますが、これからも応援よろしくお願致します。

祝100号! 記念号 みでやっぺ!

100号 2014年6月30日
発行 富岡町生活復興支援おだがいさまセンター
(社会福祉法人富岡町社会福祉協議会内)
連絡先 024-935-3332

みでやっぺの生い立ちから今日まで

記念すべき第0号▶

BPF(ビッグパレットふくしま)に避難してきて緊急小口資金の貸付業務や要介護者への介護が一段落した頃、社会福祉協議会として求められる次の仕事は、ボランティアセンターの設置でした。4月22日からの準備期間を経て5月1日に開所となったボランティアセンターの名称は「ビッグパレット内生活支援ボランティアセンター」。どう考えても長すぎる名称です。サブネームで皆から親しまれる名前をということで「お互いに助け合う」「お互いに支え合う」「お互いに協力し合う」の「おたがいさま」に温もりのてんてんをつけて「おだがいさまセンター」という愛称になりました。

これから避難生活を支援していくセンターの発足に併せて発行されたのが『みでやっぺ』。これには二つの意味があり①読んでみっか…という意味の「見て(読んで)みるわ」の意味と②この情報紙を読んで、よし自分も何かやってみよう…というそんな気持ちになってくれたらとの期待を込めてでした。

今でこそ全国に避難をしている富岡町民全世帯に配布されていますが、当初はBPFに避難をしている町民にだけに週1回発行し手渡しで配られたもの。「お元気ですか?」「おだがいさまセンターはCホールにありますよ」「遊びに来てくださいね」等と声をかけながら一人ひとりに手渡されました。富岡町にはなかったボランティアセンターを知ってもらうため、より身近な存在として認識してもらうための方法でもありました。

手渡し配布から生まれた「草むしりやっちゃん」その一言に発足から3日目で事業内容を方向転換、それ以来、皆様の声に耳を傾けながら事業を展開してきました。

2011年5月1日に0号を発行しBPFから仮設住宅へ、その後全国、全世帯発送となり、そして迎えた100号。皆様のご支援により無事に役目を終えることができました。震災から3年と4ヶ月「みでやっぺ」を通して何人の笑顔を届け、何人の人を繋いできたことでしょうか。この100号記念号で「みでやっぺ」は終了となりますが、この情報紙で心が和み、懐かしさと故郷への思いを強くしたという方々に感謝いたします。ありがとうございました。



編集に携わった人たちに聞きました

当時の読者の反応

苦労話

- 読む方がどんな記事を望んでいるのだろうか?と悩みました。何に興味があるのか?何を知りたいのか?を自分なりに考えながら内容を決めました。
- ビッグパレット内の交番にいらっしゃる警察官の取材をする際に、福島県警の許可が必要でその連絡をしたら、私の職場(本部)に折り返し電話が入ってしまい、何事だと驚かれました。

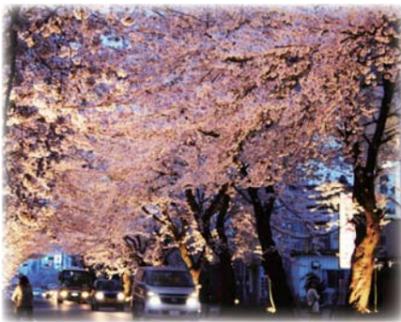


編集に携わって良かったこと

- 配布もスタッフで行っていて、ビッグパレット・各仮設1人1人手渡しで、いろいろな意見を直接聞くことができました。
- 紙面づくりをするときのボランティアの方たちの気持ち・配達するときの期待や反応。社協職員としてお手伝いをするどころか、かえってこちらが勉強をさせていただきました。
- 取材で住民の方とふれあうことが出来たのが、とても良かったです。
- 自衛隊や警察の方に取材ができたことで、普段わからなかった苦労話が聞けたことがよかった。

- 「ああ、ありがとう」と言われ、「いつものやつが来た」という感じで住民の方にすっかり根付いているんだなと思いました。
- 他のポスティングのようなチラシはお断りだが「みでやっぺ」は別、必ず届けてほしいと言われた。
- 町の広報紙と一緒に全国に配布していただけて、Web上にも電子版をアップしていたので、町民の方以外にも「みでやっぺ」を読んでいるとの声があると、幅広い範囲の方に読んで頂いているのだと実感しました。





夜の森の桜(夜桜)



つつみ公園



麓山の火祭り
撮影:西山 栄さん



JR富岡駅



富岡町芸能祭

1号 5.9発行



開所式に集まっていたボランティアの皆さんとセンタースタッフで記念写真を撮りました

おだがいさまセンター開所しました!

—「おだがいさまセンター」開設!—

5月1日(日)朝10時からビッグパレット内の生活支援ボランティアセンター「おだがいさまセンター」の開所式が行われました。

事前に、各関係者に対し「おだがいさまセンター」のしくみや仕事内容などの説明があり、たくさんのボランティアセンターのみなさんに集まいただきました。

開所式では、はじめに当センターの吉田仁所長のあいさつがあり、富岡町長、川内村長の来賓祝辞をいただきました。ボランティアを代表して富岡町の筒井陽子さん、郡山市の佐藤徹哉さんのお二人がビッグパレット内での活動を話されたあと、所長よりボランティア腕章が贈られました。その後、出席して下さったボランティアの方々の自己紹介、おだがいさまセンタースタッフの紹介があり、和やかに記念撮影が行われました。

印象に残っている記事

3号 5.23発行



湯船にはアヒル隊長がいますよ~

笑顔でお待ちしています

自衛隊設営のお風呂、もう利用されていますか? 3月21日から、第1後方支援連帯、第2整備隊、特科直接支援隊のみなさんが毎日心を込めてお風呂を提供しています。毎日入浴剤を変えており、取材した日は女性は「レモン」、男性は「草津の湯」の入浴剤でした。みなさんに気持ちよくゆっくりと入浴していただけるよう、工夫を凝らしています。自衛隊の方々は避難されているみなさんとたくさん話をしたいと思っています。姿を見かけたときは声をかけてくださいね。

ビッグカメット カメ吉くん!!

今週の一枚

5月18日(水)に新たに2匹増えました。自衛隊では新しく増えたカメたちの名前を募集しています。いい名前がありましたら是非自衛隊の方に伝えてくださいね。



32号 12.19発行



3.11 9ヶ月のキャンドルの前で黙とうをしました

参加した皆さんの手で点火しました

追悼式及びイルミネーション点灯式

三春地区富岡町応急仮設住宅自治会連絡協議会主催の『追悼式及びイルミネーション点灯式』が熊耳応急仮設住宅において、震災から9ヶ月目の12月11日(日)に行われました。震災により犠牲になられた方々のご冥福を祈り、また子供達に元気になってほしい、夢と希望を与えたいとの思いからとり行われました。



イルミネーション全体図



さくら通り(二中側)
撮影:西山 栄さん



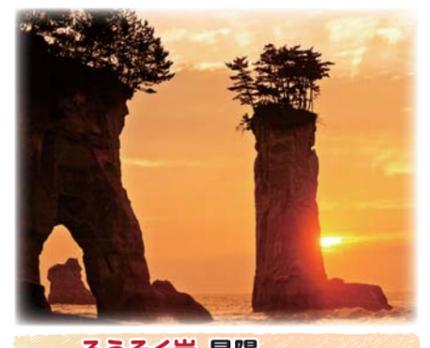
灯ろう流し



富岡漁港 朝もやの漁
撮影:宇佐美 富士夫さん



JR夜ノ森駅のつつじ



ろうそく岩 昇陽
撮影:宇佐美 富士夫さん

8号 6.27発行

長友選手が来るまで

<p>長友誰?事件(実話)</p> <p>呼ぶべな</p> <p>長友...が来たって言うてるらしいけどどこに!!</p>	<p>ロングフレンド(実話)</p> <p>2ヵ月後に長友来るんだ!みんなにバレないようにしなきゃ</p> <p>あの日、車内にて...</p>
<p>ビッグパレットに呼びましょう!!</p>	<p>そなた!!</p>
<p>ビッグパレットに決まったぞ!</p> <p>ところでよ</p>	<p>ビッグパレットイベント掲示板</p> <p>カキ</p> <p>ヤキ</p>
<p>長友って誰だ?</p> <p>え</p> <p>有名です</p>	<p>ビッグパレットイベント掲示板</p> <p>長い友だち...?</p> <p>Long Friend</p> <p>バレませんでした!</p>

2011年 春~冬にかけての出来事

17号 8.29発行

ミニミニ夏祭り!! IN大玉村内 富岡町仮設住宅集会所

21日、10時から東京にある「のぞみ幼稚園」と「レモスマッシュ」両団体の有志の方と大玉村社会福祉協議会の協力で、「ミニミニ夏祭り」が開催されました。あいにくの小雨が降る中でしたが、会場内は熱気むんむん!子どもたちが、ホットドックやかき氷を食べたり、スイカ割りやスライム作りをして楽しいひと時を過ごしていました。みんなの素敵な笑顔が印象的でした!



スイカ割り!

24号 10.24発行

よいしょ!! みんなでお芋ほり



たくさんのお芋が獲れたよ~

5月の末に畑ごと隊の皆さんが岩瀬農業高校の畑に植えたサツマイモが収穫の時を迎え、畑ごと隊、芋ほり隊、そして、富田さくら保育施設の親子の皆さん総勢50名で芋ほりを行いました。子どもたちがお芋を掘り起こすのをみんなが手伝い、大きなお芋が姿を見せるたびに畑のあちこちで歓声があがっていました。子どもたちも久しぶりの屋外での活動に、楽しそうにお芋を掘り当てていました。

32号 12.19発行

平沢応急仮設住宅で餅つき

12月11日(日)に自治会主催の餅つきがありました。お住まいの多くの方々が手際よくお餅の用意をされて皆さんに振る舞っていました。お雑煮やきな粉餅、納豆餅等のお餅が用意されていました。山形からご協力いただいたもち米を杵と臼でつきました。お雑煮の野菜も新潟県の方からいただき美味しくご馳走になりました。楽しいお餅つきになりました。

